

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月24日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【雨水回収タンクJ6-4のフランジ部パッキンの破損について】 雨水回収タンクJ6-4のフランジ部パッキンの破損を確認。 フランジ部からの漏えいはなし。 今後、当該タンク内部のシール材の劣化確認のため、水抜き後点検予定。	GⅢ	1月21日
2	【5号機 原子炉建屋換気系放射線モニタ(A系)点検における安全処置不足によるインターロック動作について】 5号機 原子炉建屋換気系放射線モニタ(A系)点検のため当該モニタの電源を「OFF」にしたところ、運転中の原子炉建屋換気系(A系)が停止し、非常用ガス処理系(B系)が自動起動したことを確認。 原因は、当該モニタを点検のため電源を「OFF」する際には、A系およびB系の非常用ガス処理系の自動起動防止の安全処置を実施すべきところ、A系のみ実施し、B系を実施しなかったため、非常用ガス処理系(B系)の自動起動インターロックが動作したものと推定。 なお、当該システムについては、正常な状態に復旧済。 今後、原因調査および対策を実施予定。	GⅢ	1月21日